

平成22年3月期 第1四半期 財務・業績の概況（非連結）

平成21年8月17日

会社名 株式会社イオン銀行
 代表者 代表取締役社長 片岡 正二
 問合せ先責任者 執行役員企画部長 平子 恵生

URL <http://www.aeonbank.co.jp/>
 TEL (03)6703-0661
 特定取引勘定設置の有無 無

（百万円未満、小数点第1位未満は切捨て）

1. 平成22年3月期第1四半期の業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,402	322.8	△4,076	—	△4,187	—
21年3月期第1四半期	568	—	△4,950	—	△4,957	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第1四半期	△2,991	21	—	—
21年3月期第1四半期	△8,262	24	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	458,726	31,645	6.8	22,604 10
21年3月期	379,402	35,835	9.4	25,597 00

（参考）自己資本 22年3月期第1四半期 31,645百万円 21年3月期 35,835百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—				

3. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 1,400,000株 21年3月期 1,400,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 —株 21年3月期 —株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第1四半期 1,400,000株 21年3月期第1四半期 600,000株

四半期財務諸表

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成 21 年 6 月 30 日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成 21 年 3 月 31 日)
資産の部		
現金預け金	88,567	103,043
コールローン	35,000	70,000
買入金銭債権	44,000	18,000
有価証券	165,383	86,656
貸出金	108,333	85,171
その他資産	6,012	4,334
有形固定資産	6,405	6,683
無形固定資産	5,239	5,618
貸倒引当金	△215	△105
資産の部合計	458,726	379,402
負債の部		
預金	407,618	334,518
その他負債	19,188	8,670
賞与引当金	115	244
役員退職慰労引当金	30	33
その他の引当金	123	94
繰延税金負債	3	6
負債の部合計	427,080	343,567
純資産の部		
資本金	36,250	36,250
資本剰余金	33,750	33,750
利益剰余金	△38,355	△34,168
株主資本合計	31,644	35,831
その他有価証券評価差額金	1	3
評価・換算差額等合計	1	3
純資産の部合計	31,645	35,835
負債及び純資産の部合計	458,726	379,402

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	568	2,402
資金運用収益	259	1,003
(うち貸出金利息)	11	690
(うち有価証券利息配当金)	14	192
役務取引等収益	303	938
その他業務収益	—	301
その他経常収益	5	158
経常費用	5,519	6,478
資金調達費用	384	675
(うち預金利息)	384	675
役務取引等費用	71	543
営業経費	5,054	5,149
その他経常費用	8	110
経常損失	4,950	4,076
特別損失	—	99
固定資産処分損	—	27
その他の特別損失	—	71
税引前四半期純損失	4,950	4,175
法人税、住民税及び事業税	6	12
法人税等合計		12
四半期純損失	4,957	4,187

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

4. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年3月期 第1四半期 財務・業績の概況 補足資料

当行の平成22年3月期 第1四半期（平成21年4月1日から平成21年6月30日）における四半期情報について、お知らせします。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

（単位：百万円）

	平成21年6月末(概算値)	平成20年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	—
危険債権	—	—
要管理債権	—	—
正常債権	108,539	4,436
合計	108,572	4,436

（注）上記は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づくものです。

2. 自己資本比率（国内基準）

	平成21年6月末実績(概算値)	平成20年6月末実績
単体自己資本比率	29.84%	26.33%
単体Tier I比率	29.65%	26.25%

3. 時価のある有価証券の評価差額

○評価差額

（単位：百万円）

	平成21年6月末				平成20年6月末			
	時価	評価差額	評価差額		時価	評価差額	評価差額	
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	118,035	1,060	1,098	37	—	—	—	—
その他有価証券	92,408	5	9	3	11,431	4	5	1
株式	—	—	—	—	—	—	—	—
債券	92,408	5	9	3	11,431	4	5	1
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

- （注）1. 貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権が含まれております。
2. 四半期末の「評価差額」は、四半期末時点の取得価額（償却原価法適用後）と時価との差額を計上しております。
3. なお、子会社・関連会社株式はありません。

4. デリバティブ取引

該当事項はありません。

以上